

東証プライム 4631

# DIC株式会社

2025年度第2四半期決算説明資料

2025年8月



**DIC株式会社**

# ハイライト

(億円)	2024上期	2025上期	増減比	2025見通し	前回見通し
売上高	5,388	5,232	△2.9%	10,600	11,100
営業利益	219	270	+ 22.9%	500	480
経常利益	200	203	+ 1.3%	400	440
親会社株主に帰属する中間期/当期純利益	64	131	+ 104.0%	240	240
年間配当/株 (円)	50	50		200	100

## 上期実績

- 売上高は減収。関税に対する警戒感から、第2四半期（4－6月）に入って顔料やインキの出荷が減速した
- 営業利益は増益。構造改革によるコスト削減や販売価格の改定を行い、顔料の海外事業が黒字化したことが増益に寄与した
- 為替差損が経常利益を押し下げたが、前年同期よりも特別損失が減少したため、中間期純利益は大幅な増益となった

## 年間見通し

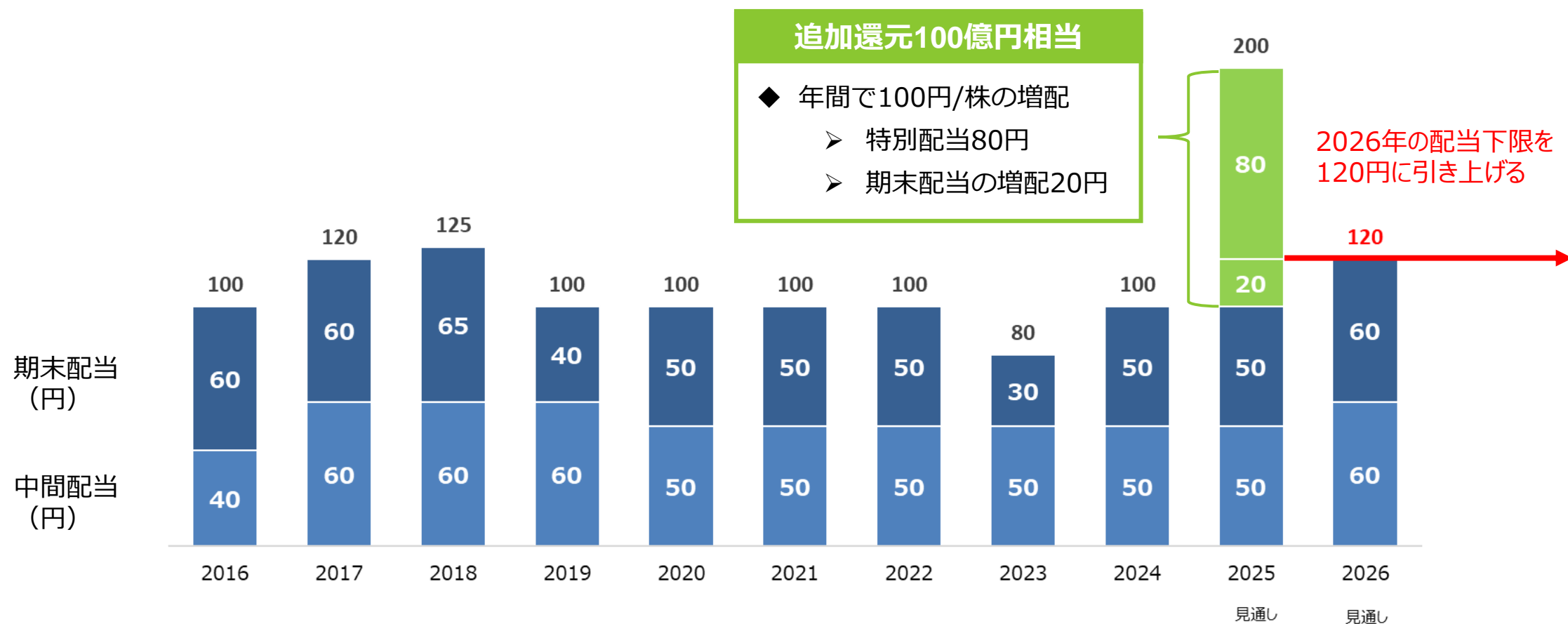
- 売上高を当初計画から下方修正するが、高付加価値製品の拡販や適切な価格対応により営業利益は当初計画を上回る見通し。経常利益は為替差損の増加を織り込み下方修正するが、当初計画より特別損失が減少する見込みのため当期純利益は変更なし
- 美術品売却による特別利益は見通しに織り込んでいない

## 株主還元

- キャッシュ・アロケーション方針に沿って100億円相当の追加株主還元を増配で実施。期末配当を100円増の150円とし、中間配当50円と合わせて年間配当を200円とする

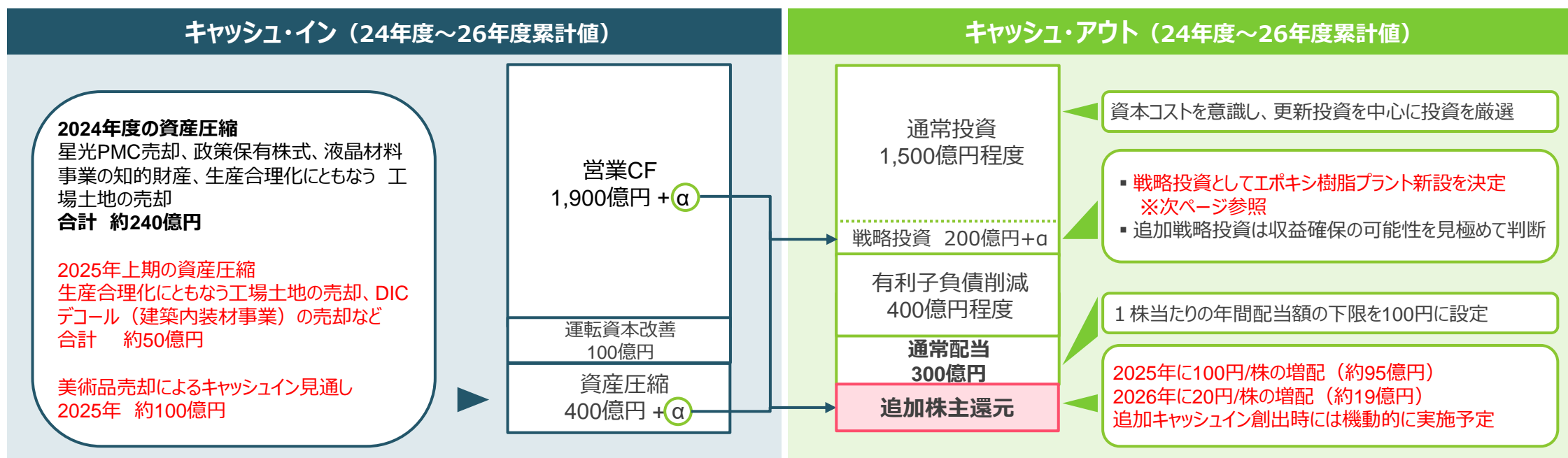
# 株主還元

- 資産圧縮が計画通り進捗していることから、2025年度に100億円程度の追加株主還元を1株当たり100円の増配により実施
- 業績は回復軌道に入っており、2026年度は営業利益で過去最高益を更新する見通し。2026年の配当下限を100円から120円に引き上げる



# キャッシュ・アロケーション方針

- 資産圧縮により2024年度に約240億円、2025年上期に約50億円のキャッシュを創出。2025年下期に見込む美術品売却によるキャッシュイン100億円を含め、2026年までに資産圧縮により400億円+αを確保できる見通しとなっている
- 戦略投資枠200億円の範囲内で、千葉工場にエレクトロニクス用途のエポキシ樹脂プラントを新設することを決定。2029年7月供給開始予定
- 今後も追加キャッシュインを創出した場合は、都度、キャッシュアロケーション方針に沿って使途を決定する



	2024年実績	2026年度目標と考え方	
ROIC	3.8%	4.0～5.0% ≥ WACC	構造改革の推進や経営資源配分の見直しによって早期改善を目指す
ROE	5.6%	7.0～8.0% ≥ 株主資本コスト	26年度は通過地点として、資本効率の改善を図り企業価値向上を目指す
ネットDEレシオ	1.05倍	1.00～1.10倍	事業構造改革進展により若干のレバレッジは許容も格付A格を維持する財務運営継続

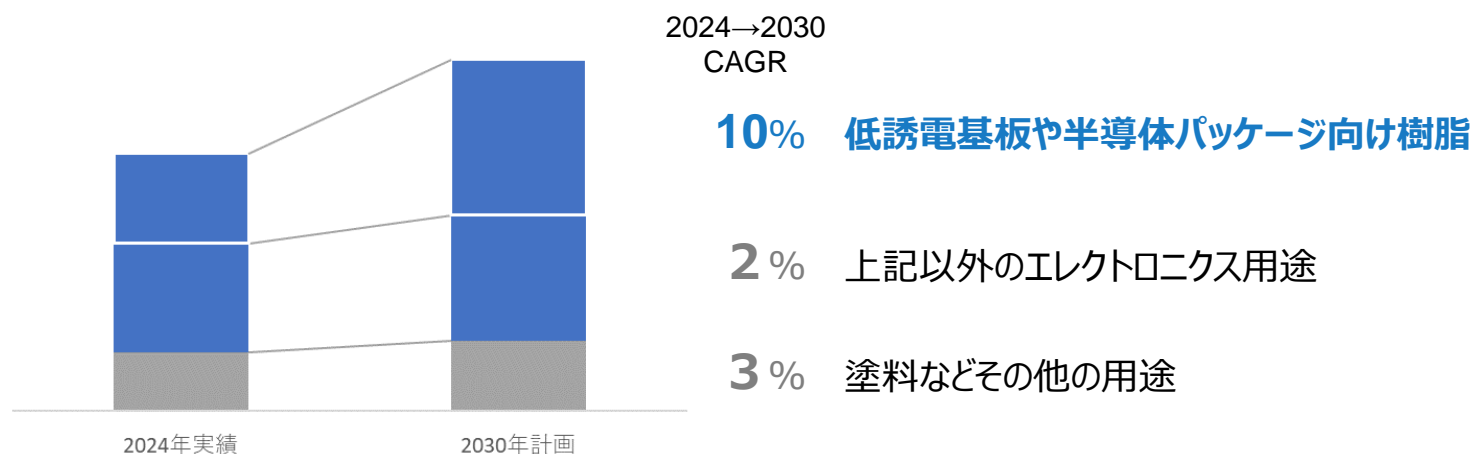
# 千葉工場エポキシ樹脂プラント新設 <ケミトロニクス事業>

## 高度化する半導体後工程の市場ニーズに対応し、拡大する需要を確実にとらえて事業拡大を図る

- 当社は、低誘電基板や半導体パッケージを構成する部材（封止材、層間絶縁材料等）用の高機能エポキシ樹脂において、リーディングカンパニーの地位にある
- 経済安全保障推進法に基づく「供給確保計画」の認定を受けて、千葉工場にエポキシ樹脂プラントを新設することを決定。最大助成額30億円を受け、半導体用エポキシ樹脂の生産能力を約59%増強
- 半導体市場の成長に伴い高まるエポキシ樹脂の需要に対し、中長期的に対応可能な生産能力を確保し、国内における安定供給体制の構築に尽力するとともに、ケミトロニクス事業のさらなる発展を目指す

## エポキシ樹脂 売上高

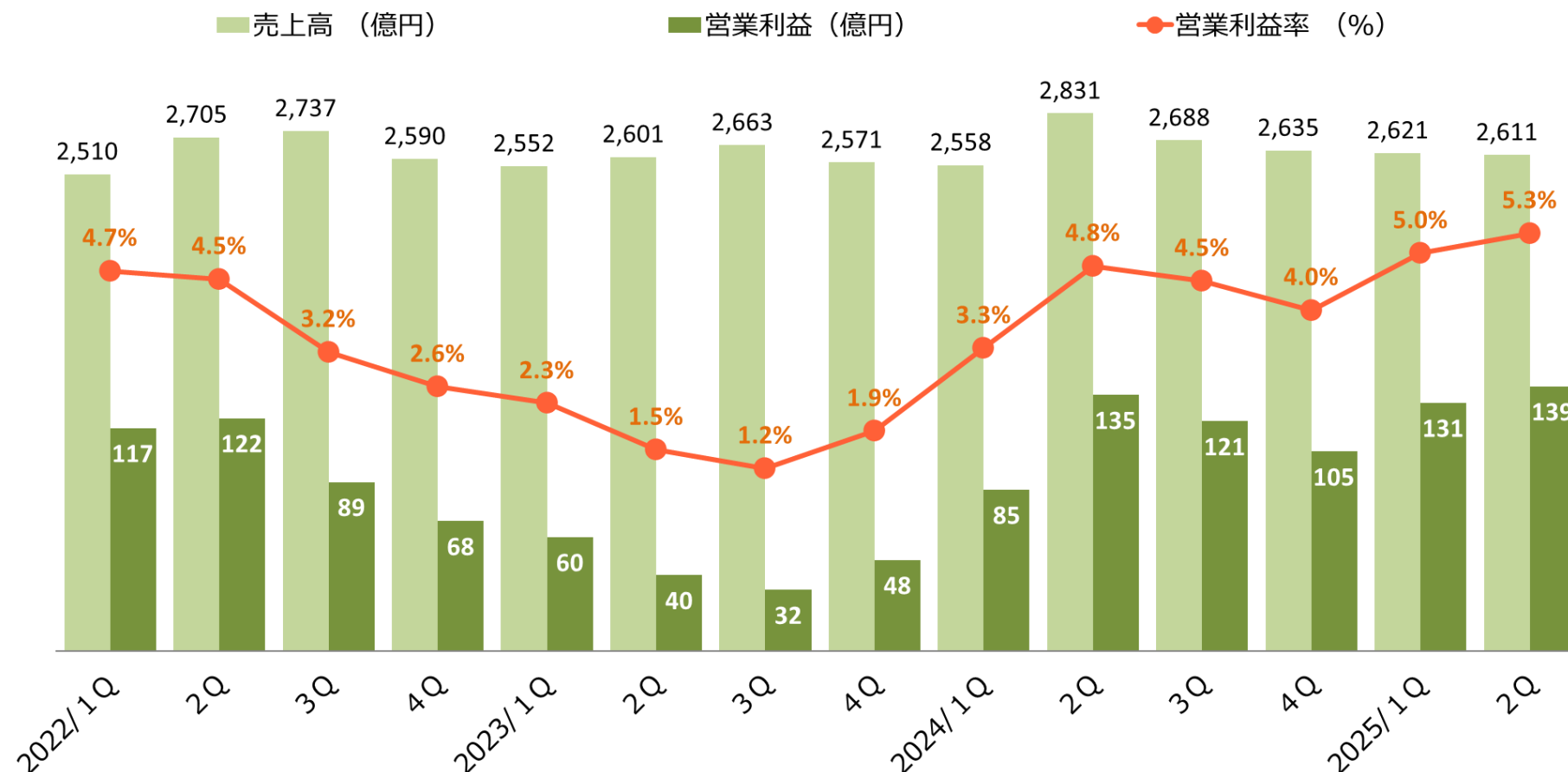
- エレクトロニクス用途の中でも需要の拡大が見込まれる、**低誘電基板や半導体パッケージ向け樹脂**の売上を伸ばす
- エポキシ樹脂の売上高は2030年には2024年の約1.4倍に増加する見通し



中でも、当社独自技術による活性エステル型エポキシ樹脂硬化剤は、高周波対応のハイエンド基板向けの材料として市場から高く評価されている

# 四半期業績推移

- 収益性は順調に回復。2025年 2 Qの四半期営業利益は、C&E買収後としては最高値となった



# 連結損益計算書

(億円)	2024 2Q	2025 2Q	増 減	増減比	現地通貨ベース 増減比
<b>売上高</b>	<b>5,388</b>	<b>5,232</b>	△ 156	△2.9%	△0.5%
売上原価	△ 4,257	△ 4,064	193		
販売費及び一般管理費	△ 912	△ 898	14		
<b>営業利益</b>	<b>219</b>	<b>270</b>	<b>50</b>	<b>+ 22.9%</b>	<b>+ 27.9%</b>
<b>営業利益率</b>	<b>4.1%</b>	<b>5.2%</b>	-		
金融収支	△ 27	△ 18	9		
持分法投資損益	10	9	△ 2		
為替差損益	3	△ 48	△ 51		
その他	△ 6	△ 10	△ 4		
<b>経常利益</b>	<b>200</b>	<b>203</b>	<b>3</b>	<b>+ 1.3%</b>	
特別利益	48	24	△ 24		
特別損失	△ 91	△ 19	73		
税前利益	157	208	51		
法人税等	△ 87	△ 74	12		
中間純利益	70	134	63		
非支配株主に帰属する中間純利益	△ 6	△ 3	3		
<b>親会社株主に帰属する中間純利益</b>	<b>64</b>	<b>131</b>	<b>67</b>	<b>+ 104.0%</b>	
<b>EBITDA*</b>	<b>438</b>	<b>491</b>	<b>53</b>	<b>+ 12.0%</b>	

特別損益の内訳	2024 2Q	2025 2Q
<b>特別利益</b>		
関係会社株式及び出資金売却益	9	17
固定資産売却益	39	7
<b>特別損失</b>		
固定資産処分損	△ 12	△ 8
関係会社株式及び出資金売却損	△ 45	△ 5
リストラ関連退職損失	△ 32	△ 4
減損損失	△ 2	△ 2

## ■ 平均レート

	2024 2Q	2025 2Q
USD/円	152.13	148.58
EUR/円	164.43	162.72

\*EBITDA：親会社株主に帰属する中間期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額



# 財務体質

(億円)	2024 期末	2025 2Q末	増減
ネット有利子負債	4,225	4,246	22
自己資本	4,014	3,961	△ 53
ネットD/Eレシオ *	1.05倍	1.07倍	
自己資本比率	32.7%	32.9%	
1株当たり純資産 (円)	4,239.67	4,183.85	

\* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

⚠ 円高により為替換算調整勘定が減少（△138）

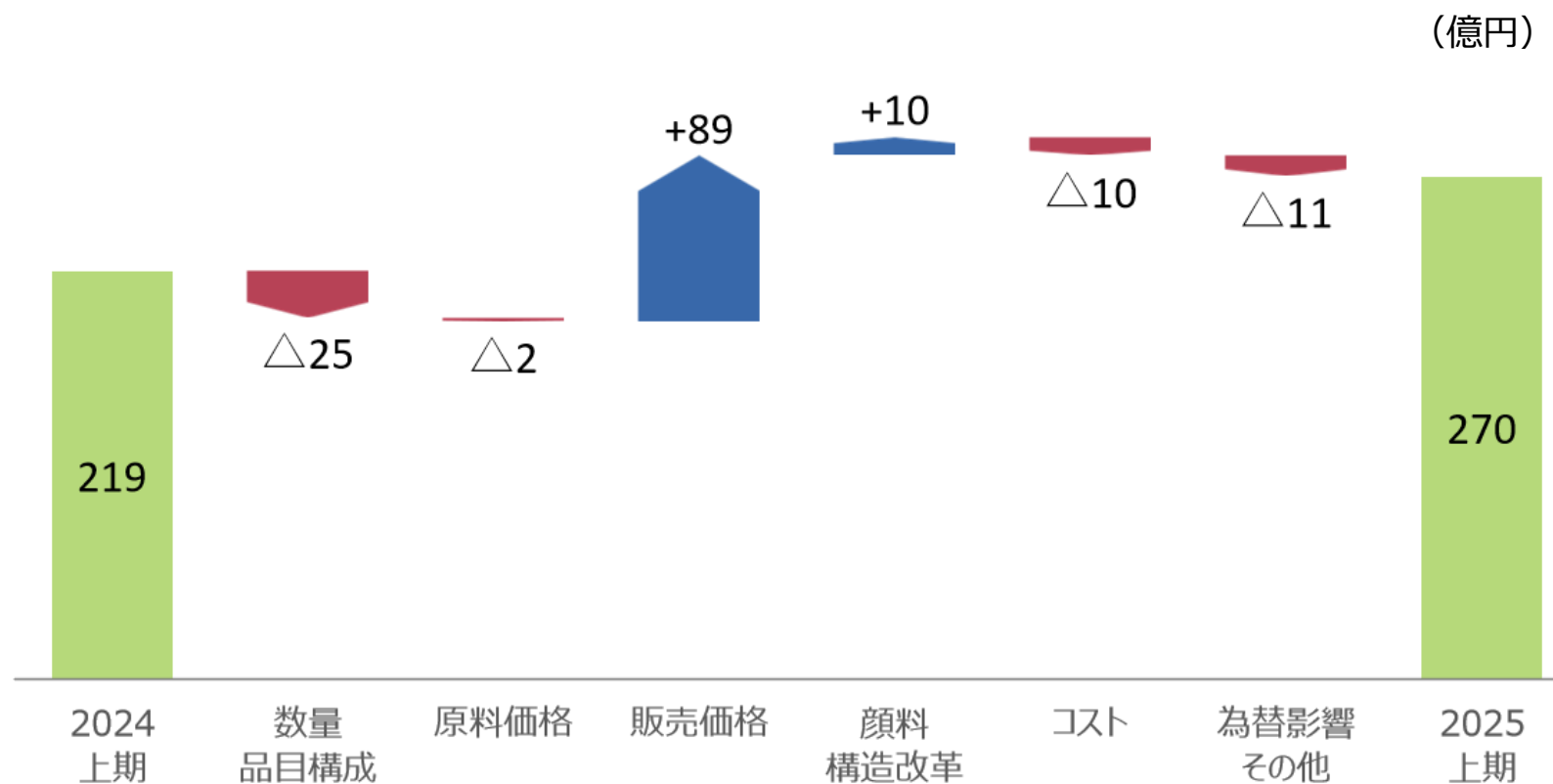
## ■ 期末レート

	2024 期末	2025 2Q末
USD/円	156.24	143.91



# 営業利益増減要因

- スプレッドを重視する販売価格の徹底により収益性が改善



# セグメント別業績

(億円)	売 上 高					営 業 利 益					営 業 利 益 率	
	2024 2Q	2025 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024 2Q	2025 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024 2Q	2025 2Q
パッケージング&グラフィック	2,808	2,688	△ 120	△4.3%	△1.1%	152	134	△ 18	△11.9%	△5.2%	5.4%	5.0%
日本	632	622	△ 10	△1.6%	△1.6%	35	25	△ 10	△28.6%	△28.6%	5.5%	4.0%
米州・欧州	1,814	1,727	△ 87	△4.8%	△0.4%	90	82	△ 8	△9.1%	+ 1.6%	5.0%	4.7%
アジア他	443	410	△ 34	△7.6%	△5.4%	30	26	△ 4	△11.9%	△10.4%	6.8%	6.4%
連結調整	△ 81	△ 71	10	-	-	△ 3	1	4	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,343	1,320	△ 23	△1.7%	+ 0.5%	4	57	52	13.1倍	8.0倍	0.3%	4.3%
日本	170	180	11	+ 6.3%	+ 6.3%	28	31	3	+ 12.0%	+ 12.0%	16.2%	17.1%
海外	1,250	1,234	△ 16	△1.3%	+ 1.3%	△ 22	26	48	黒字化	黒字化	-	2.1%
連結調整	△ 77	△ 95	△ 18	-	-	△ 2	△ 1	1	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	1,447	1,430	△ 18	△1.2%	△0.4%	108	109	1	+ 0.8%	+ 1.3%	7.5%	7.6%
日本	878	889	10	+ 1.2%	+ 1.2%	56	52	△ 4	△6.5%	△6.5%	6.4%	5.9%
海外	732	698	△ 35	△4.7%	△3.2%	53	57	4	+ 7.6%	+ 8.8%	7.2%	8.2%
連結調整	△ 163	△ 157	7	-	-	△ 1	△ 0	0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 209	△ 205	5	-	-	△ 45	△ 30	15	-	-	-	-
連結合計	5,388	5,232	△ 156	△2.9%	△0.5%	219	270	50	+ 22.9%	+ 27.9%	4.1%	5.2%
USD/円	152.13	148.58		△2.3%		152.13	148.58		△2.3%			
EUR/円	164.43	162.72		△1.0%		164.43	162.72		△1.0%			

## ■ パッケージング&グラフィック

日本

- パッケージ用インキやポリスチレンの出荷が伸び悩み、減益

米州・欧州

- 需要の減速によりパッケージ用インキの出荷が減少した。安定した供給やサービスを通じて販売価格の維持に努めたことにより現地通貨ベースでは増益となったが、新興国通貨安による為替換算影響を受けて、減益

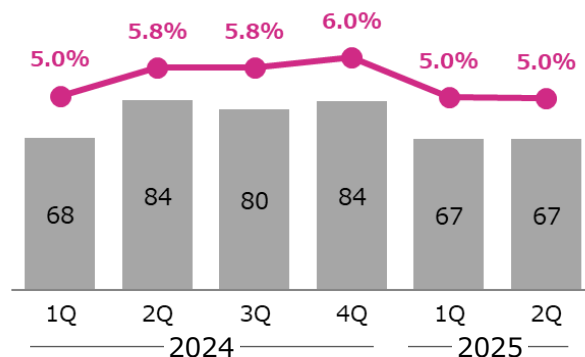
アジア

- 市況が低迷した上、価格競争が強まり、減益となった

(億円)	売 上 高					営 業 利 益					営業利益率	
	2024 2Q	2025 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024 2Q	2025 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024 2Q	2025 2Q
パッケージング&グラフィック	2,808	2,688	△ 120	△4.3%	△1.1%	152	134	△ 18	△11.9%	△5.2%	5.4%	5.0%
日本	632	622	△ 10	△1.6%	△1.6%	35	25	△ 10	△28.6%	△28.6%	5.5%	4.0%
米州・欧州	1,814	1,727	△ 87	△4.8%	△0.4%	90	82	△ 8	△9.1%	+ 1.6%	5.0%	4.7%
アジア他	443	410	△ 34	△7.6%	△5.4%	30	26	△ 4	△11.9%	△10.4%	6.8%	6.4%
連結調整	△ 81	△ 71	10	-	-	△ 3	1	4	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率

■ 営業利益 (億円)    ● 営業利益率 (%)



主要製品の売上高推移

増減比		
パッケージ用インキ*	+ 1%	需要が減速し低調な出荷となったが、スプレッドを重視した販売価格の徹底により、増収
出版用インキ*	△8%	デジタル化の進展により需要が減少
ジェットインキ	+ 6%	デジタル化の進展で出荷を伸ばし、増収
ポリスチレン	△11%	原料価格下落に伴う販売価格改定と、7月以降の更なる販売価格の値下がりを見越した顧客による買い控えにより減収
多層フィルム	+ 5%	食品価格の上昇により食品包装用の需要が停滞したが、販売価格の維持により増収

\*現地通貨ベース増減比

# カラー&ディスプレイ

## 売上高

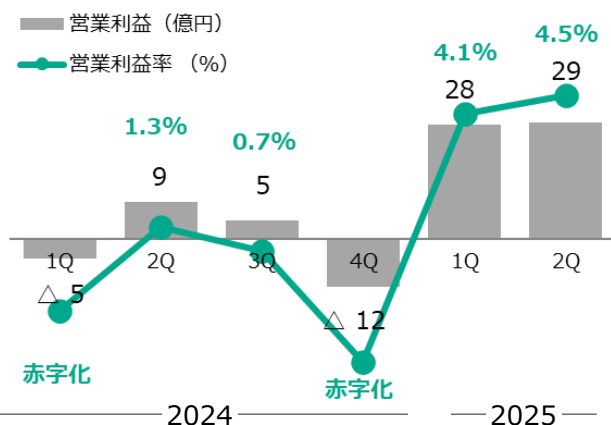
- 関税への懸念から、2Q（4 - 6月）に入って顧客が発注を抑制する動きが見られ出荷数量は減少したが、収益性改善のため価格改定を実施したことで、現地通貨ベースでは増収となった

## 営業利益

- 価格改定による収益性改善に加え、構造改革の推進によりコスト削減に努めた結果、赤字であった海外が黒字に転換し、大幅増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2024 2Q	2025 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024 2Q	2025 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024 2Q	2025 2Q
カラー&ディスプレイ	1,343	1,320	△ 23	△1.7%	+ 0.5%	4	57	52	13.1倍	8.0倍	0.3%	4.3%
日本	170	180	11	+ 6.3%	+ 6.3%	28	31	3	+ 12.0%	+ 12.0%	16.2%	17.1%
海外	1,250	1,234	△ 16	△1.3%	+ 1.3%	△ 22	26	48	黒字化	黒字化	-	2.1%
連結調整	△ 77	△ 95	△ 18	-	-	△ 2	△ 1	1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

増減比*		
顔料 塗料用	+ 2%	関税影響見極めのため顧客が発注を抑制したため出荷数量は減少したが、価格改定により増収
プラスチック用	+ 5%	関税影響見極めのため顧客が発注を抑制したため出荷数量は減少したが、価格改定により増収
インキ用	△ 3%	顧客の在庫調整により、減収
化粧品用	△ 9%	欧米化粧品メーカー向けの出荷が低調であった
ディスプレイ用	+ 8%	2Qにパネルメーカーの小幅な調整にともなう出荷の減速があったが、引き続き堅調に推移
スペシャリティ用	+ 1%	在庫調整が続いていた農業向けの出荷が回復基調となった

\*現地通貨ベース増減比

# ファンクショナルプロダクツ

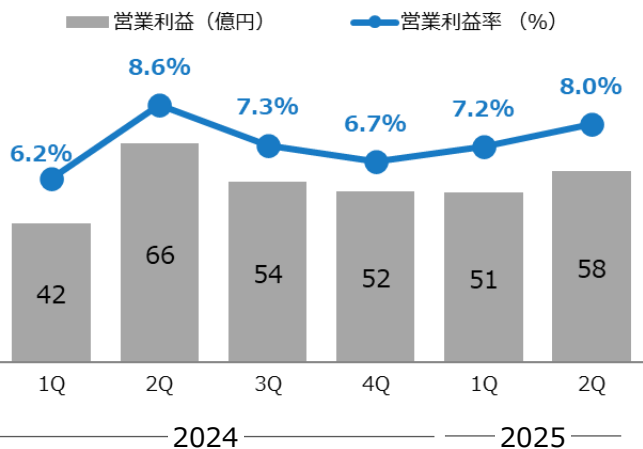
- 売上高

  - エレクトロニクスやモビリティに関連する高付加価値製品の出荷は増加したが、住宅建設インフラ用途や一般工業用途の汎用品の出荷が減少し、減収となった
- 営業利益

  - 高付加価値製品の増加で品目構成が改善。スプレッドを重視する販売価格の徹底により、増益を確保

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2024 2Q	2025 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024 2Q	2025 2Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2024 2Q	2025 2Q
ファンクショナルプロダクツ	1,447	1,430	△ 18	△1.2%	△0.4%	108	109	1	+ 0.8%	+ 1.3%	7.5%	7.6%
日本	878	889	10	+ 1.2%	+ 1.2%	56	52	△ 4	△6.5%	△6.5%	6.4%	5.9%
海外	732	698	△ 35	△4.7%	△3.2%	53	57	4	+ 7.6%	+ 8.8%	7.2%	8.2%
連結調整	△ 163	△ 157	7	-	-	△ 1	△ 0	0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

	増減比		増減比
エポキシ樹脂	+ 5%	PPSコンパウンド	+ 0%
工業用テープ	+ 17%	アクリル樹脂	+ 2%
UV硬化型樹脂	+ 2%	ウレタン樹脂	+ 1%
		水性樹脂	△1%
		ポリエステル樹脂	△7%
		中空糸膜モジュール	+ 27%

エポキシ樹脂、工業用テープ、UV硬化型樹脂、中空糸膜モジュールなどのデジタル分野がメインとなる製品は好調に推移した。そのほかの製品については、モビリティ関連の用途は、一部で米国関税影響を見越した前倒しの需要があり底堅く推移したものの、住宅建設インフラ用途や一般工業用途では汎用品を中心に出荷が低迷した。住宅建設インフラ用途の多いポリエステル樹脂は出荷の減少が大きかった

## ■ファンクショナルプロダクツ 補足資料

### ● ファンクショナルプロダクツに含まれているケミトロニクス事業本部の業績

#### 売上高

- ・ エポキシ樹脂は、生成AIサーバー、PC、スマートフォン関連の高付加価値製品が好調な出荷となった
- ・ 工業用テープは、スマートフォン等のモバイル機器向けの需要を着実に取り込み、当社製品の採用が増加した

#### 営業利益

- ・ 製品の開発や実装を加速するため技術コストを増やしたことにより減益となったが、当初計画に対しては予定通りの進捗

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2024 2Q	2025 2Q	増減	増減比	2024 2Q	2025 2Q	増減	増減比	2024 2Q	2025 2Q
ケミトロニクス事業本部	286	300	14	+ 4.9%	38	33	△ 6	△15.5%	13.5%	10.9%

主な製品：エポキシ樹脂等のパッケージ基板・プリント基板向けの熱硬化性樹脂、工業用テープ、UV硬化型樹脂、フォトレジスト用樹脂・化合物、界面活性剤

## 2025年度の業績見通し

- 売上高を当初計画から下方修正するが、高付加価値製品の拡販や適切な価格対応により営業利益は当初計画を上回る見通し。経常利益は為替差損の増加を織り込み下方修正するが、当初計画より特別損失が減少する見込みのため当期純利益は変更なし
- 美術品売却による特別利益は見通しに織り込んでいない

(億円)

	2024	2025 見通し	増減比	前回見通し
売上高	10,711	10,600	△1.0%	11,100
営業利益	445	500	+ 12.3%	480
営業利益率	4.2%	4.7%	－	4.3%
経常利益	379	400	+ 5.5%	440
親会社株主に帰属する当期純利益	213	240	+ 12.6%	240
1株当たり純利益 (円)	225.11	253.48	－	253.48
EBITDA *1	957	990	+ 3.5%	1,020
設備投資・投融資	473	492	+ 4.0%	492
減価償却費・のれん償却額	539	540	+ 0.1%	565
平均レート				
USD/円	151.04	145.00	△4.0%	145.00
EUR/円	163.34	158.00	△3.3%	158.00

	2024	2025 見通し
ROIC *2	3.8%	4.3%
ROE	5.6%	6.0%
ネットD/Eレシオ *3	1.05倍	1.03倍
年間配当／株 (円)	100	200
配当性向	44.4%	78.9%

\*2 ROIC：営業利益×（1-実効税率28%）／（ネット有利子負債＋純資産）

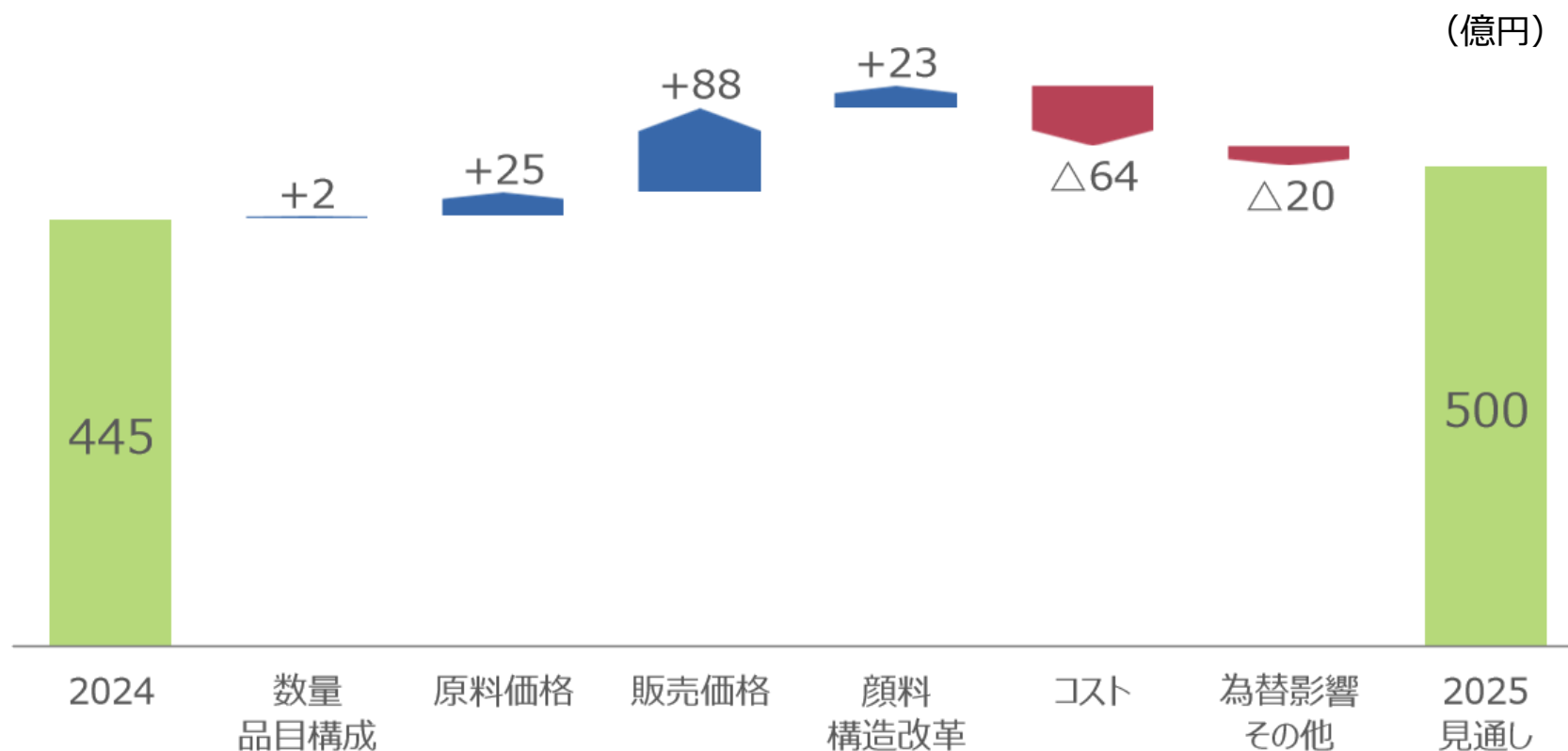
\*3 ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

\*1 EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額



# 営業利益増減要因

- 下期の原油価格（WTI）見通しは、67ドル
- 地域や製品の状況に応じた価格政策により収益性が改善。減収見通しながら、増益



# 2025年度のセグメント別業績見通し

(億円)	売 上 高				営 業 利 益				営 業 利 益 率		前回見通し	
	2024	2025 見通し	増減	増減比	2024	2025 見通し	増減	増減比	2024	2025 見通し	2025 売上高	2025 営業利益
パッケージング＆グラフィック	5,601	5,480	△ 121	△2.2%	316	272	△ 44	△14.0%	5.6%	5.0%	5,748	294
日本	1,290	1,268	△ 23	△1.8%	61	54	△ 7	△11.2%	4.7%	4.3%	1,314	60
米州・欧州	3,573	3,487	△ 87	△2.4%	193	161	△ 32	△16.4%	5.4%	4.6%	3,647	176
アジア他	903	871	△ 32	△3.5%	65	57	△ 9	△13.3%	7.2%	6.5%	941	57
連結調整	△ 166	△ 146	20	-	△ 3	0	3	-	-	-	△ 154	0
カラー＆ディスプレイ	2,570	2,573	3	+ 0.1%	△ 3	61	63	黒字化	-	2.4%	2,731	61
日本	352	361	8	+ 2.4%	56	59	2	+ 4.3%	16.0%	16.3%	375	59
海外	2,363	2,377	14	+ 0.6%	△ 58	2	60	黒字化	-	0.1%	2,517	3
連結調整	△ 146	△ 165	△ 19	-	△ 1	0	1	-	-	-	△ 161	0
ファンクショナルプロダクツ	2,960	2,961	2	+ 0.1%	214	230	16	+ 7.6%	7.2%	7.8%	3,027	210
日本	1,817	1,813	△ 4	△0.2%	101	113	12	+ 12.2%	5.5%	6.2%	1,827	100
海外	1,475	1,456	△ 20	△1.3%	114	117	4	+ 3.2%	7.7%	8.1%	1,532	109
連結調整	△ 332	△ 307	25	-	△ 0	0	0	-	-	-	△ 332	0
その他、全社・消去	△ 419	△ 414	5	-	△ 82	△ 63	19	-	-	-	△ 406	△ 84
連結合計	10,711	10,600	△ 111	△1.0%	445	500	55	+ 12.3%	4.2%	4.7%	11,100	480
USD/円	151.04	145.00		△4.0%	151.04	145.00		△4.0%			145.00	145.00
EUR/円	163.34	158.00		△3.3%	163.34	158.00		△3.3%			158.00	158.00

# ファンクショナルプロダクツ 補足資料

- ファンクショナルプロダクツに含まれている**ケミトロニクス事業本部**の業績

(億円)	売 上 高				営 業 利 益				営業利益率	
	2024	2025 見通し	増減	増減比	2024	2025 見通し	増減	増減比	2024	2025 見通し
ケミトロニクス事業本部	610	648	39	+ 6.3%	76	82	6	+ 8.3%	12.4%	12.6%

- 当初計画よりも緩やかではあるが、2025年後半から汎用半導体関連の製品の回復を見込んでいる。生成AI関連の需要は、上期に引き続き好調に推移すると見込んでおり、高付加価値製品の出荷増によりコスト増をカバーし増益の計画

# 参考資料


---





## その他の主なトピックス （2025年5月～2025年8月）

ニュースリリース 2025年  
<https://www.dic-global.com/ja/news/2025/> 

- 5月 米国で生産される顔料製品について、2025年6月1日出荷分より、関税サーチャージ制に基づく価格改定を実施
- 7月 物流の効率化と社会課題解決に向け、2025年11月から印刷インキメーカー3社による首都圏での共同配送を開始することを決定
- 7月 DICグループ統合報告書「DICレポート2025」を発行 
- 7月 業界最高水準のバイオマス度50%を実現、バイオマス由来原料を高配合したハイブリッド型UVインキ「BIOBRID®」を発売
- 7月 世界的なESG投資指標「FTSE4Good Index Series」に7年連続で選定
- 8月 千葉工場にエポキシ樹脂プラントを新設することを決定 （P. 5 参照）

# 事業セグメントと主要製品

2024年度実績数値

提供価値	パッケージング & グラフィック	カラー & ディスプレイ	ファンクショナルプロダクツ
	<p>売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率</p> <p> 5,601億円 316億円 5.6%</p> <p>包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する</p>	<p>売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率</p> <p> 2,570億円 △3億円 -</p> <p>表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する</p>	<p>売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率</p> <p> 2,960億円 214億円 7.2%</p> <p>機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する</p>
主要製品	<p>パッケージ用インキ</p> <p></p> <p>フィルム インキ 接着剤 フィルム</p> <p>包装材料 ←ポリスチレン ↓多層フィルム</p> <p>接着剤</p> <p></p> <p>ジェットインキ</p> <p></p> <p>屋外看板用途</p> <p></p> <p>バナー用途</p> <p></p>	<p>ディスプレイ用顔料</p> <p></p> <p>化粧品用顔料</p> <p></p> <p>塗料用顔料</p> <p></p> <p>プラスチック用顔料</p> <p></p> <p>インキ用顔料</p> <p></p> <p>スペシャリティ用顔料</p> <p>農業用途</p> <p></p> <p>建材用途</p> <p></p>	<p>需要業界別売上高構成比イメージ</p> <p>◆電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野◆</p> <p>デジタル</p> <p>モビリティ</p> <p>◆モビリティ（自動車など）を中心とする工業分野◆</p> <p>PPSコンパウンド</p> <p>水性樹脂</p> <p>アクリル樹脂</p> <p>ウレタン樹脂</p> <p>ポリエステル樹脂</p> <p>エポキシ樹脂</p> <p>UV硬化型樹脂</p> <p>工業用テープ</p> <p>中空糸膜モジュール</p> <p>SEPAREL</p> <p>住宅建設</p> <p>インフラ</p> <p>一般工業</p> <p>その他</p>

# セグメント別四半期業績推移（参考）

(億円)	売 上 高						営 業 利 益					
	2024 1Q	2024 2Q	2024 3Q	2024 4Q	2025 1Q	2025 2Q	2024 1Q	2024 2Q	2024 3Q	2024 4Q	2025 1Q	2025 2Q
パッケージング＆グラフィック	1,345	1,463	1,398	1,395	1,340	1,348	68	84	80	84	67	67
日本	297	335	322	337	307	315	14	21	14	12	10	15
米州・欧州	875	939	892	868	864	863	41	49	50	53	44	38
アジア他	212	231	226	234	205	204	14	16	16	20	13	14
連結調整	△ 39	△ 42	△ 42	△ 43	△ 36	△ 35	△ 2	△ 1	1	△ 1	0	0
カラー＆ディスプレイ	635	708	651	576	689	630	△ 5	9	5	△ 12	28	29
日本	74	95	96	86	89	92	10	17	15	14	13	17
海外	595	655	597	517	651	583	△ 14	△ 8	△ 11	△ 25	16	10
連結調整	△ 35	△ 42	△ 42	△ 27	△ 50	△ 44	△ 1	△ 0	1	△ 1	△ 2	1
ファンクショナルプロダクツ	681	766	747	765	708	721	42	66	54	52	51	58
日本	417	461	455	484	438	451	20	35	25	20	25	28
海外	339	393	381	362	346	351	22	31	29	31	27	29
連結調整	△ 76	△ 88	△ 88	△ 81	△ 76	△ 81	△ 0	△ 0	0	0	△ 1	1
その他、全社・消去	△ 102	△ 107	△ 108	△ 102	△ 116	△ 88	△ 20	△ 25	△ 19	△ 19	△ 16	△ 14
連結合計	2,558	2,831	2,688	2,635	2,621	2,611	85	135	121	105	131	139



## 連結貸借対照表（参考）

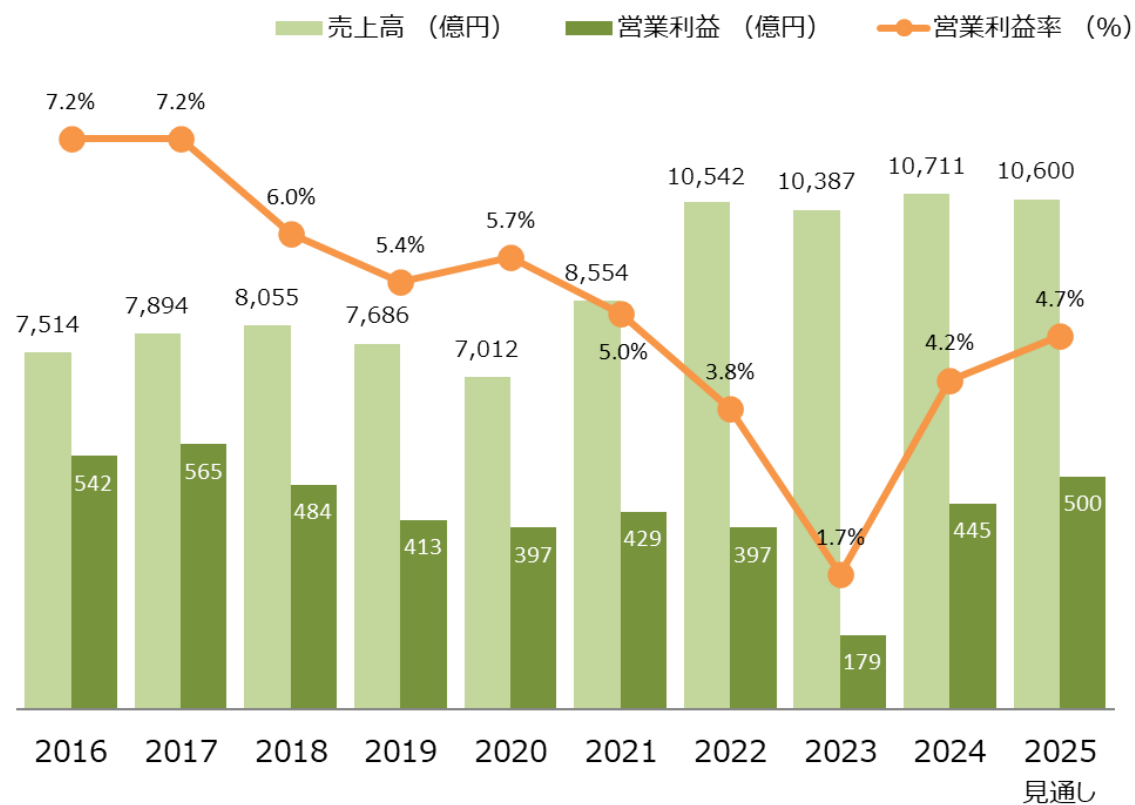
(億円)	2024 期末	2025 2Q末	増 減
流動資産	6,075	6,070	△ 5
有形固定資産	3,641	3,511	△ 131
無形固定資産	675	616	△ 59
投資その他の資産	1,873	1,851	△ 22
<b>資産合計</b>	<b>12,264</b>	<b>12,048</b>	<b>△ 216</b>
流動負債	3,331	3,358	27
固定負債	4,727	4,539	△ 188
<b>負債合計</b>	<b>8,058</b>	<b>7,897</b>	<b>△ 161</b>
株主資本	3,763	3,846	83
その他の包括利益累計額	251	115	△ 136
（為替換算調整勘定）	(346)	(207)	(△ 138)
非支配株主持分	192	190	△ 2
<b>純資産合計</b>	<b>4,206</b>	<b>4,151</b>	<b>△ 55</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,264</b>	<b>12,048</b>	<b>△ 216</b>
有利子負債残高	4,843	4,820	△ 24
現預金残高	619	574	△ 45
ネット有利子負債	4,225	4,246	22

## 連結キャッシュ・フロー計算書（参考）

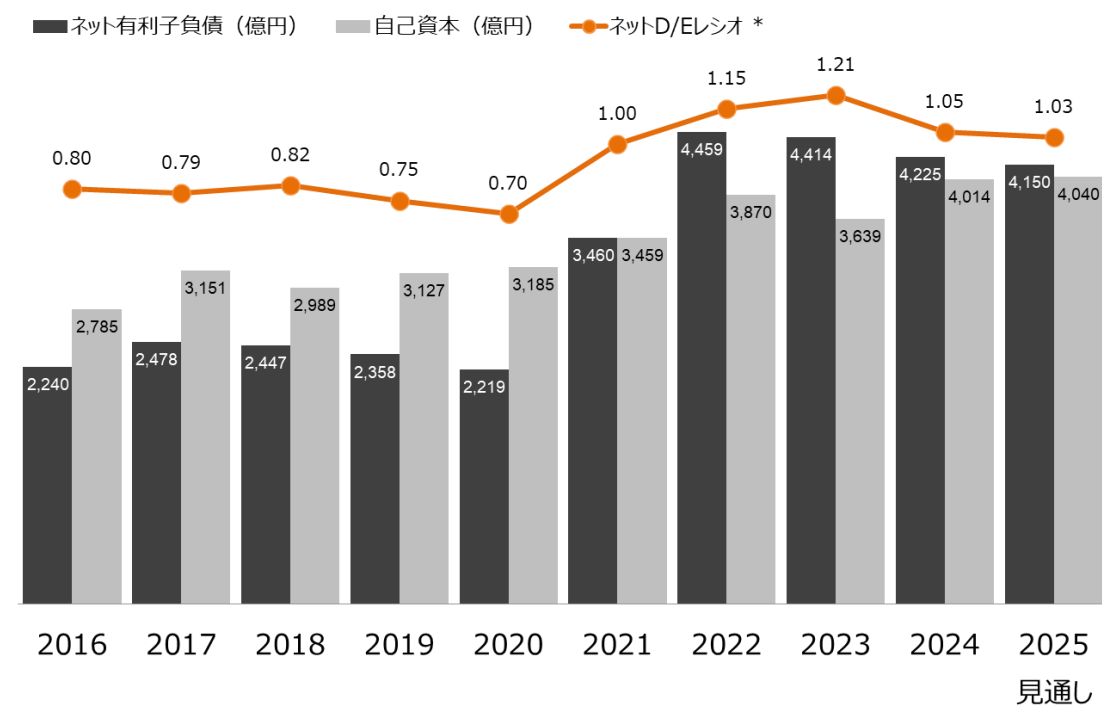
（億円）	2024 2Q	2025 2Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	145	215	70
投資キャッシュ・フロー	△ 72	△ 155	△ 83
財務キャッシュ・フロー	185	△ 38	△ 223
現金及び現金同等物の期末残高	1,200	564	△ 636
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	<b>73</b>	<b>60</b>	<b>△ 13</b>
運転資本の増減額	△ 183	△ 190	△ 7
設備投資・投融資	245	207	△ 38
減価償却費・のれん償却額	261	267	7

# 業績の推移（参考）

## 業績



## 財務体質

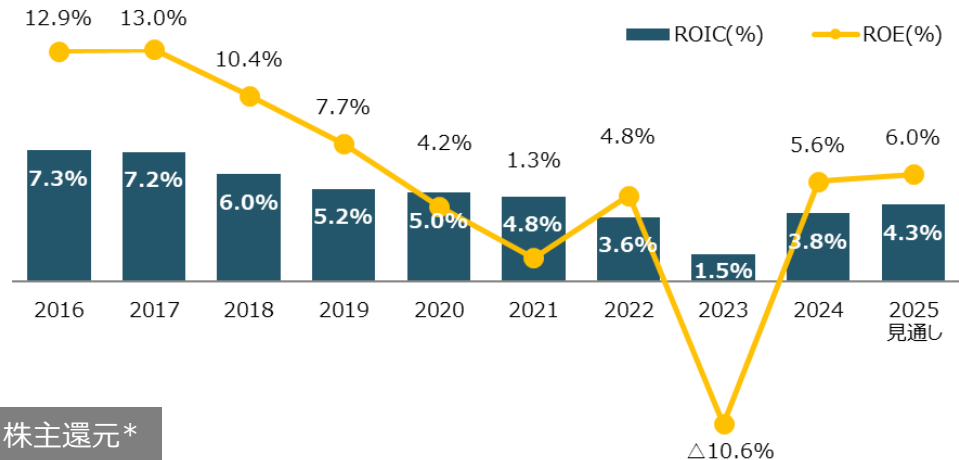


\* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

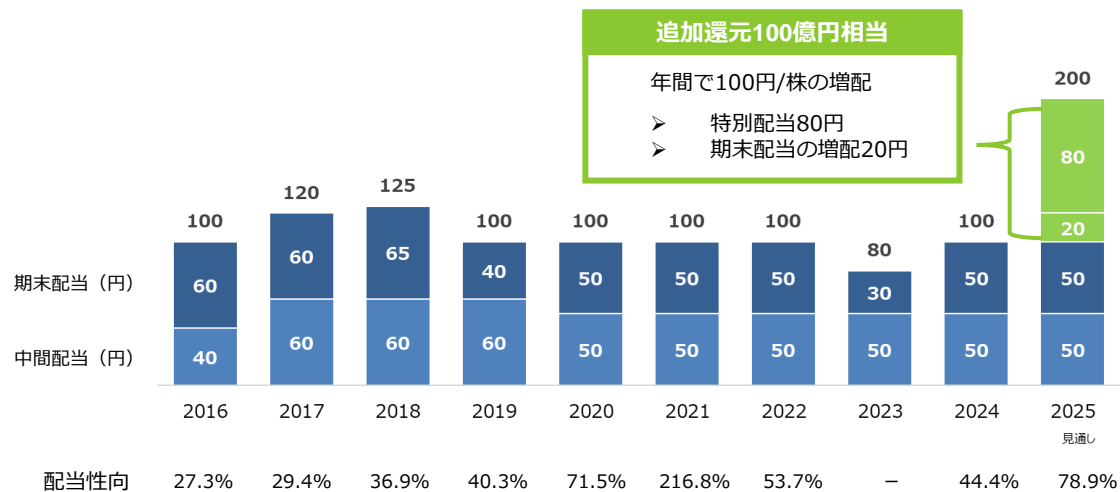
# 業績の推移（参考）

## ROE・ROIC\*

\* ROIC：営業利益×（1-実効税率28％）／（ネット有利子負債＋純資産）



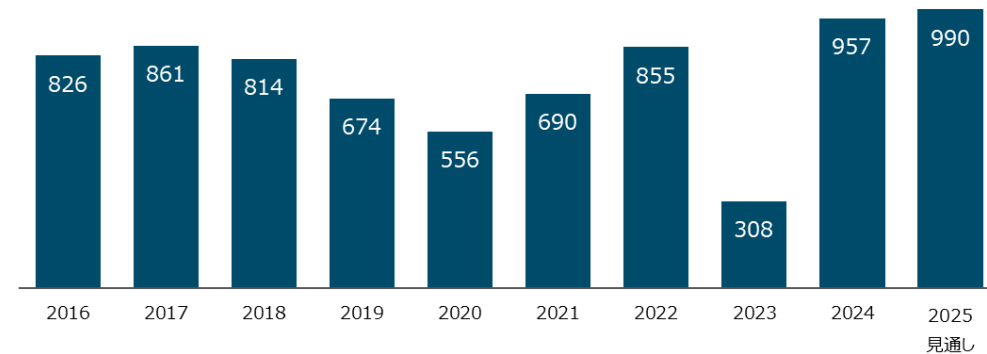
## 株主還元\*



## EBITDA\*

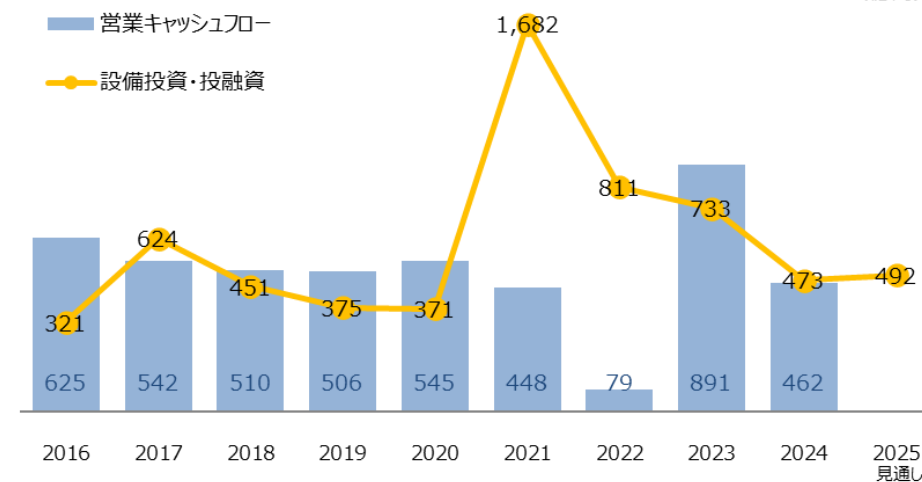
\* EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

(億円)



## 設備投資・投融資・営業キャッシュフロー

(億円)



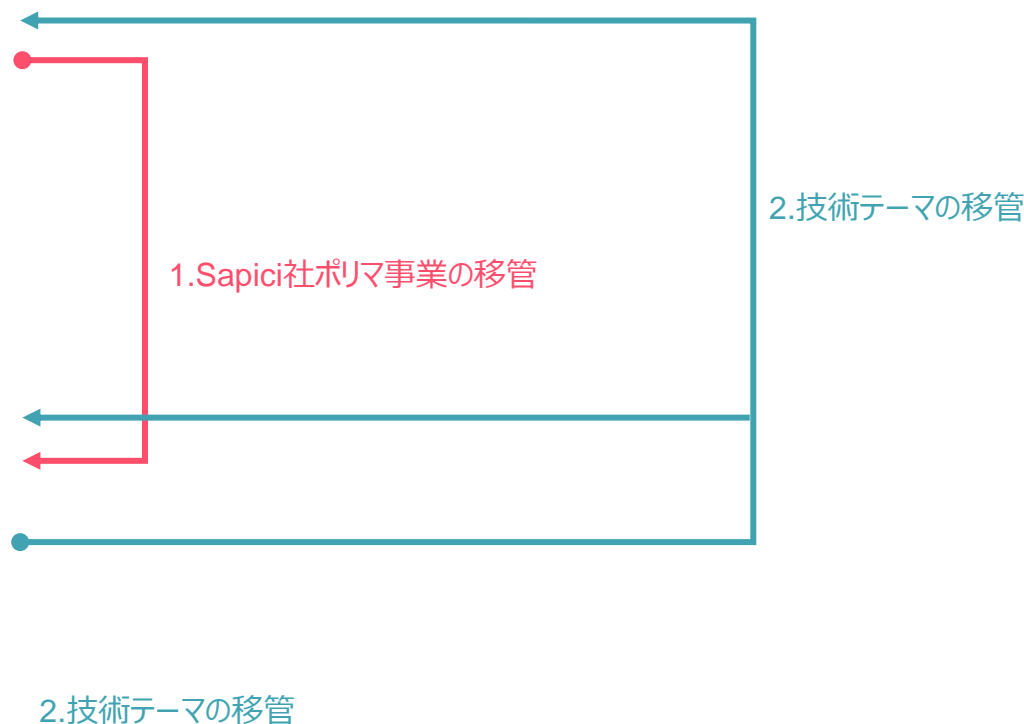
# 2025年度以降の一部開示変更について

1. 従来、パッケージング&グラフィック米州・欧州に含めていた接着剤・ポリマメーカーである子会社Sapici社のポリマ事業を2025年度からファンクショナルプロダクツ海外へ移管した。接着剤事業はこれまで通りパッケージング&グラフィックに含める
2. 一部の技術テーマを「その他、全社・消去」内の新事業統括本部から製品本部および事業本部へ移管した
3. 本説明資料では、変更後の2024年実績を記載している

(億円)	売上高			営業利益		
	2024 変更前	変更額	2024 変更後	2024 変更前	変更額	2024 変更後
パッケージング&グラフィック	5,698	△ 97	5,601	336	△ 19	316
日本	1,290		1,290	63	△ 3	61
米州・欧州	3,670	△ 97	3,573	210	△ 17	193
アジア他	903		903	65		65
連結調整	△ 166		△ 166	△ 3		△ 3
カラー & ディスプレイ	2,570		2,570	△ 3		△ 3
日本	352		352	56		56
海外	2,363		2,363	△ 58		△ 58
連結調整	△ 146		△ 146	△ 1		△ 1
ファンクショナルプロダクツ	2,863	97	2,960	210	4	214
日本	1,817		1,817	113	△ 13	101
海外	1,379	97	1,475	97	17	114
連結調整	△ 332		△ 332	△ 0		△ 0
その他、全社・消去	△ 419		△ 419	△ 98	15	△ 82
連結合計	10,711	0	10,711	445	0	445

ファンクショナルプロダクツに含まれているケミトロニクス事業本部

ケミトロニクス事業本部	610	0	610	80	△ 4	76
-------------	-----	---	-----	----	-----	----



## 本資料の前提について

【為替レート】	2024				2025		2025前提	前回の前提
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	通期	通期
USD/円 平均レート	147.58	152.13	150.43	151.04	152.46	148.58	145.00	145.00
USD/円 期末レート	151.36	160.95	141.71	156.24	149.05	143.91	145.00	145.00

【原料】	2024				2025		2025前提	前回の前提
	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	4－6月	通期	通期
原油（WTI）ドル/バレル	77.00	80.60	75.10	70.30	71.40	64.00	67.00	70.00-75.00
国産ナフサ 円/kl	72,500	79,000	76,900	73,200	73,400	65,500	64,000-65,000	72,000-75,000

### 【決算期】

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。  
当期は、2025年1月1日から6月30日までの6ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

## ＜予想に関する注意事項＞

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。  
業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、  
実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、  
当社は責任を負うものではありません。





Color & Comfort



**DIC Corporation**